

1-3. 受託調査研究

④ 1) 国際園芸博覧会出展による造園緑化技術の海外展開調査

委託者：国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室

1. 業務の目的

2016（平成28）年にトルコ共和国のアンタルヤ市において国際園芸博覧会（以下、「園芸博」という。）の開催が決定しており、トルコ共和国政府から日本国政府に対して参加招請がなされている。歴史的に友好関係にあり、我が国にとって外交上重要な関係のあるトルコ共和国との一層の関係強化を図る観点から、国土交通省では政府出展を予定している。

また、我が国は、古くより日本庭園をはじめとする高度な造園緑化技術を応用・活用しつつ、都市公園の整備をはじめとした都市緑化の推進により良好な都市環境の形成を図ってきたところである。このような我が国の独自の造園文化や、伝統的な造園緑化技術、さらにこれらの技術を踏まえて改良されてきた先進的な造園緑化技術（屋上、壁面緑化技術等）については、国内のみならず、海外の都市開発においても良好な都市環境の形成の観点から活用が期待される場所であり、都市開発の拡大が予想される海外地域における環境ビジネスを拡大していくための情報発信等の取組みが不可欠である。園芸博は、世界各国から緑や花の関係者が集まる場であることから、我が国の有する高度な造園緑化技術を世界にアピールする絶好の機会である。

以上を踏まえ、本業務は、我が国の造園緑化技術の発信と海外展開の促進を図るため、トルコ共和国アンタルヤ市で開催される園芸博に政府出展するにあたっての出展内容等に関する企画及び調査検討を行った。

2. 業務の概要

1) 海外発信すべき我が国の造園緑化技術に関する情報収集・整理

当公益財団法人が持つ、特殊緑化共同研究会及び緑化技術に関する調査成果、「都市緑化フェアで出展された特殊緑化技術の事例」等を利用し、国際博覧会に出展できる緑化技術の情報収集し整理した。また、博覧会の開催期間に海外の造園・園芸企業との交流、情報収集の方法について検討を行った。

前記事項を踏まえて、我が国の伝統的な造園緑化技術や、国内の民間企業等が有する先進的な造園緑化技術について、その現状等を把握・分析するとともに、海外向けの情報発信手法等について検討を行った。

2) 出展に係る企画検討

屋内出展に係る政府出展事業者と企画段階から協議・調整を行い、連携・協力でき

る行催事体制を検討した。特に開催期間の維持管理計画・催事計画等については連携体制の提案書を取りまとめた。また、催事運営計画では、国内の関係団体との連携により日本政府出展として一体となった事業展開を目指す出展計画の検討を行い。これらの事業効果の検証方法として、来場者に日本の造園技術出展に関して対面聞き取り方式によりアンケート調査の企画・検討を行った。

園芸博への出展を通じ、造園緑化技術の海外発信という目的が達せられるよう、関係機関、民間企業等との調整を図りつつ、以下についての企画検討を行った。

- ①我が国の造園緑化技術を幅広く紹介するための展示内容について、伝統的なものから先進的な造園緑化技術まで含めて企画検討を行った。
- ②園芸博開催期間中の造園緑化技術の普及啓発について、造園緑化技術のPRイベント開催等の企画検討を行った。

3) 報告書とりまとめ

上記の調査結果を、報告書として取りまとめた。